



平成24年11月30日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

議会報告会C班
班長 山内 政

議会報告会（C班）報告書

議会報告会の内容と結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目的 議会の活動状況を報告・説明し、直接、批判や意見、提言などを聞き、議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 日時 平成24年11月8日（木）午後7時～
3. 開催地 田島地域 永田地区 永田林業研修センター
4. 参加者 区長他15名
5. 出席議員 山内 政、楠 正次、芳賀沼順一、湯田 哲、大竹幸一、湯田良一
6. 内容 以下のとおり
司会進行・大竹幸一
区長挨拶・渡部誠
議員代表挨拶・芳賀沼順一
出席議員の紹介・自己紹介
趣旨説明・山内政
議案説明・湯田良一
記録担当・楠正次

質疑応答

- Q. 川島地区の陳情書、採択となった場合は来年には予算化されるのか？
A. そうではない、議会で採択となっただけで予算化されるかは別のことです。
- Q. 役場庁舎建設基金はいくらか？
A. 23年度24年度の2カ年で合計4億円の予定です。
- Q. 議会報告会、議会基本条例第8条で「定例会ごとに開催を義務付ける」と聞いたがどういう意味か？
A. 定例会終了後に必ず開催地区を募集して報告するということです。1地区、年1回しか出来ないが、議員は3常任委員会から2名ずつの6名で3班編成して

報告します。

Q. 議案70号の介護保険財政安定化基金、27年までと聞いたが、27年以降はどうなるのですか？

A. 637万円県から来たもので、3年間急激な変動がないように対応するものです。県の方針なので28年度以降は現状ではわかりません。

Q. 議員提出議案第1号に関連で、里山が非常に荒廃している、人家近くにクマやイノシシ・ニホンジカ・サルなど野生鳥獣が出没して、農業者は大きなダメージを受けている。昔のように人間が山の手入れをしないため今後ますます荒廃が心配なので、財源が確保できた場合は里山再生に力を入れて欲しい。

A. 20年くらい前に出来た組織で自治体面積の80%以上が「山」という条件のもとで組織されたもので、本町は副会長になっている、今年6月には国会議員に陳情を行い、北海道の総会で来年度7月開催の全国総会を本町開催が決定している。

A. 昨年の震災でいわき地区の環境税徴収が出来なくなったので、県全体の環境税が以前は3000万円近い収入だったが今年は1000万円を切ってしまった。24年度は田島・館岩・伊南地域の合計で4000町歩の森林整備が決定した。

GPSで境界を示すことが大事、昔のように山と平地の境界線がなくなったことが野生動物の生息域の変化につながった。

Q. 介護保険料が上がるが介護施設に入りたくても入れない。民間施設入所はどうなるか。

A. 今年上がったが、保険料は3年ごとの見直しで改定・決定される。民間施設入所は国・県・町も負担する。

Q. 今生地区から徒歩で「びわのかげ保育所」に送迎する人がいる、保育所への歩道や自転車道を整備して欲しい。

A. 産業建設委員会で調査します。

Q. 現在の道路を簡易舗装にした場合、町での除雪は出来ないと言われたが、5メートルくらいに拡幅をして、町道として舗装にして欲しい。

政経東北に、第3セクターの検証結果が記事になっていたが整理の仕方について聞きたい。

A. 3年前に改善計画を示した計画期間が到来したので予定通りに検証委員会に検証していただいた結果です。我々議員も議員懇談会で議論している、この結果について責任は町長だけではなく議員も関わる。

Q. 今生の運動公園に防犯灯？2灯しかない。今年は各地から運動に来ている。

「びわのかげ運動公園」のプールから陸上競技上までの間は真っ暗で運動を終えた子供たちが迎えを待つ所が危険。桜の木の下にある3灯の照明を移したほ

うが良い。危険なので区でも警察に巡回をお願いしている。

国道までの間に2灯しかない。「アベツ」街路灯の明かりを利用しているようなものだ。設置を要望したい。

- Q. 今年街路灯の状況を詳しく調査している、永田地区は街路灯の電気料金が何十万もかかる。町で補助して欲しい。ハガトラさんの除雪もお願いしたい。
- A. このような事案は区民は区長に言ってもらいたい、今年度から集落応援交付金の活用もできる。

区長. 集落応援交付金の申請をした。

- Q. 国道400号との連絡がよくわからない、自宅前の町道改良も含めてR121と289及び400号のルートをきちんと示して欲しい。

A. 確認します。

- Q. 企業誘致をもっと進めて欲しい、少子高齢化が進んでいる、針生地区は200人の住民に22人の子供しかいない。百目貫には少学生が3人しかいない。[カンセキ]に勤めていた息子はカンセキの撤退で失業したあと、自死を選んでしまった。子供がいない町は税収が上がらない。進出企業に支援はもちろん現に頑張る地元企業に対しても支援すべきだ。若者が働ける場を大至急作らないと町がつぶれる。

- A. 町内企業を廻り驚いた。・海外進出をしてようやく地元の雇用維持や経営が成り立つ。

町は支援策を持っているが企業の周知は全部とは言えない。

- Q. 町の臨時職員は3年間だ、永続的に勤務できない不安から臨時雇用の3年間に郡山、白河等に働き場を見つける。若者が定着できる環境整備が必要だ。

A. 3年を超える雇用は正規雇用をしなくてはならない。

- Q. 喜多方でバイオマス関係で新たな産業が生まれた、本町は放射線量が極めて低い、電力供給など町の新たな産業ができると思う。自然エネルギーは今が勝負どころと思う。

- A. 産業建設委員会では2年間先進地調査を行なった、バイオマス発電は進めるべきものと提言している。

喜多方の「ノウリン」に南会津町の木材も供給しており、林業活性化議員連盟も調査をしている。

- A. 水力発電に関しては、1億の試算でメンテナンスに4000万かかっても、6000万円の収入となる。本町は期待できるエネルギーと思う。

- A. ラビスパ作っているとき斎藤ノウリンの親子はカラムツでチップを製造し山に撒いておくことから始まり、グリーンエネルギー(バイオマス発電所)を作ってしまった。小さな伐採屋が大きな企業に成長した。

ユンボの先にチェーンソーを付けマルタの玉切りができるなど機械化が進

み若い人が多く働いている。

- A. 送電線が近接という条件も設置に重要だ。
- Q. 藤生方面からの交通量も多くなり、永田までの道路の拡張を要望する。
- A. 聞いておきます。
- Q. 永田区だけでも80町歩の農地(水田)がある、今後は耕作できる若い人が居なくなる、町ぐるみで農業生産法人を立ち上げできないか。
南会津町は155億円の借金があり、現状では死亡者30名に対して5名の誕生で合併後人口減少が著しい、本町が潰れる前に本気で考えて欲しい。
- A. 町の借金は交付税措置されるので実質、町の負担は借入金額の55パーセントくらいと思う。
- A. 農業と林業で生活出来るまちづくりをしたい、大切なのは地区民の元気。頑張らしましょう。

21時・閉会、班長挨拶

アンケート回収・湯田^君議員

区長感想

「初めての開催で、町議員に対する見方が変わりました。議会の考えや議員の考え方を聞くことができてよかった。町のことを真剣に考えていることも理解できました。

これからも町全体のために頑張ってください」とありがたい言葉をいただきました。